

令和6年度 介護支援専門員 専門研修 課程 I 開催要綱

1 目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを實踐できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とする。

2 主催 石川県

3 実施機関 社会福祉法人 石川県社会福祉協議会 福祉総合研修センター

4 対象者

(1) 介護支援専門員としての実務に従事している者であって、原則として就業後6か月以上の者

- ① 本研修は「更新研修A」を兼ねています。介護支援専門員証の有効期間の初めての更新には、本研修の受講が必要です。なお、証の更新には本研修修了後、就業後3年以上の者を対象とした「専門研修 課程II」を受講する必要があります。※別紙課程II開催要綱参照
- ② 今回、本研修を受講した場合、介護支援専門員証の有効期間が満了する年度に改めて本研修を受講する必要はありません。

(2) 全日程をオンラインで受講できる方に限ります。

【注意事項】

- 1) 介護支援専門員証の有効期限が令和7年1月から12月の方（更新研修A対象者）で、今年3月に、石川県長寿社会課からご自宅に送付されたご案内に基づき、既に申込み済みの場合は、今回改めて申込む必要はありません。
- 2) 本研修は、更新研修Aの対象者を優先しますので、専門研修 課程Iとしての受講者（更新時期が令和8年1月以降の方）の定員は、下記のとおりとなります。ただし、更新研修Aの申込者状況によっては、定員の範囲内で調整する場合があります。
- 3) 本研修では事例研究を行うため、指定された項目の事例を作成し、事前に提出していただきます。作成する事例の項目は、別紙「事例の提出について」にある5類型から、募集時に提出できない事例を聞き、受講承認時に指定します。

5 定員 30名 ※申込期間中でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※更新研修Aの申込者が多数の場合、募集を中止させていただく場合があります。

6 期日・研修内容

別紙プログラムをご参照ください。

7 開催方法

Zoomを使用したオンライン研修

- ※インターネットができる環境と、1人1台のパソコンやタブレット端末が必要です。
- ※グループワークがありますので、必ずカメラ付きの機器(外付け可)をご用意ください。
- ※契約通信料(ギガ数)が少ない場合は、Wi-Fi環境下での受講をお勧めします。

8 受講料 23,000円(納入方法などの詳細は受講承認通知でお知らせします。)

9 テキスト

介護支援専門員現任研修テキスト 第1巻 専門研修課程I 第3版(中央法規出版(株)発行)

<5,280円(税込)>

(カリキュラムの変更に伴い、今年度からテキストが新しくなります。購入方法等の詳細は、受講承認通知でお知らせします。)

10 申込方法

石川県社会福祉協議会ホームページより、お申込みください。

申込期間：4月26日(金)～5月2日(木)【厳守】

申込期間が短くなっておりますのでご注意ください。

申込期間中でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。

ホームページからの申込手順

- ① 石川県社会福祉協議会ホームページ(URL：<https://www.isk-shakyo.or.jp/>)の上部メニュー **福祉の研修** をクリックします。
- ② 「研修新着情報」から受講希望の研修名をクリックすると、「検索結果」が画面の下方に表示されます。
- ③ 受講希望の研修であることを確認の上、右欄の **申込** をクリックすると、「研修申し込み」が表示されます。
- ④ 必要事項(※印は必須項目)を入力後、**申込確認画面へ** をクリックし、入力内容を確認の上、**申し込む** をクリックして、申し込み完了です。
- ⑤ 申し込み後、すぐに「受付確認書」がメールで送信されます。メールが届かない場合は、メールアドレスが正しく入力されていない可能性がありますので、福祉総合研修センターまでご連絡ください。
なお、「受付確認書」は受講を承認するものではありません。後日、「受講選考結果」がメールで送信されます。

申込画面入力の注意事項

携帯電話会社のキャリアメールアドレス(@docomo.ne.jp,@ezwb.ne.jp,@icloud.comなど)の際は、メールが届かない場合があります。

資料の送付等に使用いたしますので、出来る限り上記以外のパソコン等メールアドレスのご入力をお願いします。

(1) ケアマネ登録番号	ケアマネ登録番号（半角数字8桁）を入力してください。
(2) ケアプラン作成件数	令和6年4月1日現在の担当件数を「〇件」と入力してください。（半角数字）
(3) ケアマネ実務従事期間	現在お持ちの介護支援専門員証の交付日から、令和6年4月1日現在で「〇年〇か月」と入力してください。（半角数字 例：1年5か月） ※上記期日で6か月を越えていない場合、研修開始日の前日（6月3日（月））までを実務従事期間とします。
(4) 保有資格	介護支援専門員 <u>以外</u> の保有資格を入力します。（例 介護福祉士、看護師 等）
(5) 提出を希望しない事例類型について	別紙「事例の提出について」にある5類型から、 <u>希望しない事例テーマ</u> があれば、事例をアルファベットで入力してください。（最大3つまで） （例：事例A、事例Cが提出できない場合、「A、C」と入力） ※なるべくご回答を考慮させていただきますが、場合によっては希望に添えないこともあり得ますので、その点はご了承ください。
(6) 携帯電話番号	研修当日等に連絡が取れる携帯電話番号を入力します。 （半角数字・ハイフン有 例：090-1234-5678）
(7) Zoom使用経験	Zoomの使用経験について「有」または「無」を入力します。

11 受講承認について

定員の範囲内で受講者を承認し、結果は5月9日（木）までに研修申込時に入力されたメールアドレスに通知します。

送信予定日を過ぎても通知が届かない場合は、福祉総合研修センターまでご連絡ください。

12 修了証明書の交付等

全日程を修了した方には、修了証明書を後日郵送します。

注) 原則として、15分以上の遅刻、早退、離席の場合は、欠席とみなします。

居眠りや受講中の携帯電話の使用等、受講態度が著しく不良な場合には、修了した者として認めない場合があります。

13 個人情報の取り扱い

研修申込みの際に入力いただいた個人情報については、受講者名簿の作成及び研修に必要な連絡のために利用し、他の目的には使用いたしません。

14 申込・お問合せ先

石川県社会福祉協議会 福祉総合研修センター 担当/廣岡、神木
〒920-0022 金沢市北安江3-2-20 金沢勤労者プラザ 4階
TEL 076-221-1833 FAX 076-221-1834

事例の提出について（課程Ⅰ）

専門研修課程Ⅰでは、グループワークで使用する事例の提出が必要です。

以下の5類型の中から指定された項目の事例を作成し、事前に提出していただきます。

詳細については、受講承認時にお知らせします。

5類型

【研修で使用する類型】

項目	科目名	キーワード例
A	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	高齢者の生理・心理・生活環境等の構造的な理解、適切なケアマネジメント手法の理解、基本ケアの理解、疾患別ケアの活用、家族等に対する支援についての再確認等
B	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	血圧や疾病の管理の支援、服薬管理の支援、生活習慣の改善、心身機能の回復・維持、心理的回復の支援、活動と参加に関わる能力の維持・改善、リスク管理、血圧や疾病の自己管理の支援、服薬の自己管理、生活習慣の維持等
C	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	初期診断に関する対応、地域ネットワーク構築、認知症の理解、環境変化における対応、行動障害の取組、認知症治療に関する事、精神疾患における医学的・心理的な状況等
D	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	転倒予防、骨粗しょう症の予防、歩行の獲得、生活機能の回復、社会参加の回復、介護給付サービスの終結に向けた理解の促進（自助・互助への移行）等
E	心疾患のある方のケアマネジメント	疾患の理解と確実な服薬、自己管理能力の向上とリスクの管理、療養を続けるための環境・体制の整備、心疾患の状況に応じた生活・暮らし方の支援、心理的な支援、ステージに応じた生活・暮らし方の支援等
F	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組、生活機能低下における対応、死の受容に関する事、緩和療法、葬儀に関する相談対応、遺品に関する相談対応、生きがいの実現、看護サービス利用について等
G	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	家族等に対する支援の必要性や支援における役割・留意事項の理解、社会資源の活用に向けた関係機関との連携、他法他制度の活用（難病・高齢者虐待・高齢障害者・経済的困窮にある高齢者等）等

令和6年度 介護支援専門員更新研修(専門研修課程Ⅰ)プログラム

9日間 59時間20分(研修の科目及び時間数は国が定めた要綱に基づくものです。)

Zoomを利用したオンライン研修

日程	開催日	時間	研修時間	区分	科目名	事例区分
1日目	6/4 (火)	9:30~12:30	3	講義	ケアマネジメントの実践における倫理	—
		12:30~13:30			昼食休憩	
		13:30~17:30	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	—
2日目	6/5 (水)	9:00~16:00 (昼食休憩60分)	6	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 (1日目の続き)	
3日目	6/13 (木)	9:00~12:00	3	講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	—
		12:00~13:00			昼食休憩	
		13:00~16:00	3	講義	対人個別援助技術(ソーシャルケースワーク)及び地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)	—
4日目	6/19 (水)	9:00~9:30		講義	オーラルフレイル予防	—
		9:30~14:30 (昼食休憩60分)	4	講義	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践	—
		14:40~16:40	2	講義	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	—
5日目	6/26 (水)	9:00~12:00	3	講義	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	—
		12:00~13:00			昼食休憩	
		13:00~17:00	4	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	A
6日目	7/4 (木)	9:00~12:00	3	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 大腿骨頭部骨折のある方のケアマネジメント	—
		12:00~13:00			昼食休憩	
		13:00~17:00	4	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 脳血管疾患のある方のケアマネジメント (リハビリテーション及び福祉用具それぞれの活用に関する事例を用いた演習を含む)	B
7日目	7/10 (水)	9:00~14:00 (昼食休憩60分)	4	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 心疾患のある方のケアマネジメント	E
		14:10~17:10	3	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	—
8日目	7/17 (水)	9:00~12:00	3	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 看取り等に関する看護サービスの活用に関する事例	—
		12:00~13:00			昼食休憩	
		13:00~17:00	4	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	G
9日目	7/19 (金)	9:30~14:50 (昼食休憩60分)	4.3	講義 演習	ケアマネジメントの演習/ 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	C
		15:00~17:00	2	講義 演習	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	—

※ Zoom入室開始…研修1~8日目は8:30から入室可。9日目は8:50から入室可

※オリエンテーション開始前までに入室

※ オリエンテーション開始…研修1日目は9:00から開始。2~8日目は8:55から開始。9日目は9:25から開始